

<意見書2>

ニーズ調査の「調査票のイメージ」について

保育園を考える親の会

代表 普光院 亜紀

【全体について】分量が多すぎると思います。

▼1 ページ（用語の定義）

調査票は保護者が回答しやすいようにわかりやすく一般的な用語で書かれるべきであり、また、その後の施設やサービスの利用を助けるように情報提供がされるべきです。この観点から、次の修正をお願いします。

・幼稚園の「幼児期の学校教育を行う施設」という言葉はわかりにくいので、学校教育法の表現にならい、「保育を行う施設」としてください。

・もしも上記で、幼稚園に関する説明を修正しない場合は、保育所も保育所保育指針により幼稚園と同様の教育を実施していることを明らかにして、保護者を不安にしないようにしてください。具体的には、次のように。

保 育 所：児童福祉法に定める、保育(養護と教育)を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条、保育所保育指針）

▼問12 保護者の就労状況についての設問

冒頭には「自営業・家族従事者も含む」としながら、実際の小問では、フルタイム、パートタイム等の表現のみになっています。特に、拘束時間が特定できない就労（フリーランスなど労働裁量型個人事業主など）などの場合、どう答えればよいのかわかりません。

▼問14 選択肢1は「子育てや家事に専念したい」となっていますが、就労しない理由は介護、通院などもあり、子育てや家事だけとは限りません。選択肢を、「就労の予定はない」とすべきです。（ここは、就労しない理由を問う設問ではなく、就労ニーズ・時期を問う設問なので）

▼問15・16 「5. 家庭的保育」「7. 自治体の認証・認定保育施設」「9. 居宅訪問型保育」などの名称は一般的ではないので、その事業を利用している保護者でさえ自分の利用している事業であるとはわからないと思います。5と7は、市町村で作成する際に実際の実施

事業名に差し替えるように注意を促し、9については「ベビーシッター等保育者が子どもの家庭で保育する事業」などとしてわかりやすくする必要があります。

▼問6・問15-4の「子育て（教育を含む）」というのは、3歳未満児の子育てには家庭教育が含まれているという考え方による表現と思われませんが、一般の保護者にとってはまったく意味のない「こだわり」であり、設問が非常に奇妙でわかりにくくなっています。（教育を含む）は削除してください。

▼問15-5 「利用していない理由は何ですか」の設問の選択肢は**複数回答可**としてください。認可の空きがなくて入れなかったが、無認可は高く通わせられないから、仕方なく祖父母やファミサポ、一時預かり等でしのいでいる人もいます。

▼問22-5 「その際、『できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい』と思われましたか。」という設問の選択肢「1.できれば仕事を休んで看たい」の「日数」が、何を指しているのか不明です。（ウーケの合計日数のうちで、休みたかった日数？ 年間で看病のために休みたい日数？ 看病を想定して連続して休みたい最長日数？）そもそも、この日数にどんな意味があるのか、疑問です。父母が看られない背景にはさまざまな事情があるのであり、この日数を調べても、病児・病後児保育のニーズから差し引けるものではありません。同選択肢「2.休んで看ることは考えられない」は文言が極端です。多くの方は、休んで看たいとは思いますが、状況が許さないのだと思います。「休んで看ることのできない場合が多い」といった表現が適切です。

▼問24 不定期に利用する事業の利用目的は、「兄弟の学校行事・通院・介助・PTA活動等」というのも相当数いるように思います。

▼問30-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由の選択肢「4. 人事異動の時期に合わせるため」は、担当業務の都合で早めるケースも多いので「4. 職場の人事や業務の都合に合わせるため」としたほうがよいと思います。

以上